

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と静脈血栓塞栓症」の緊急のアンケート結果

肺塞栓症研究会会員の先生方に於かれましては、再び増加している新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の問題にて過日、肺塞栓症研究会・日本静脈学会の緊急のアンケートにお答えいただき誠にありがとうございました。重複施設を除いて総計 77 施設（1243 名の対象患者）よりご回答いただきました。肺塞栓症は 5 例（0.4%）、静脈血栓塞栓症では 7 例（0.6%）に発症しておりました。

日本では、感染症指定医療機関の有無に関わらず COVID-19 症例の入院を受け入れている施設が多いものの、COVID-19 症例での血栓症予防に関して、指針やマニュアルが存在する施設が現在は少数でした。今回のアンケート調査では、COVID-19 症例の中で肺塞栓症を含む静脈血栓塞栓症と診断された症例は欧米に比してかなり少数との結果でした。本結果が、「発症自体が本当に日本人で少ない」のか、「診断されていないだけ」なのかを判断する事は困難であるものの、欧米の指針に準拠した予防対応が適切であるか、我が国でも独自に検証する事が喫緊の課題であると考えられます。

肺塞栓症研究会のホームページには、詳細の結果を掲載しておりますので今後の診療にお役立ていただければ幸いです。この度は緊急のお願いに対してご回答いただき本当にありがとうございました。

敬具

2020 年 8 月 7 日

肺塞栓症研究会代表世話人 小林 隆夫

日本静脈学会理事長 岩井武尚

日本静脈学会サーベイ委員会委員長 八巻隆

調査事務局

横浜南共済病院 孟 真

桑名市総合医療センター 山田 典一

京都大学 山下 侑吾

お問い合わせ先：調査事務局

京都大学 山下 侑吾

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

Tel: 075-751-4255 Fax: 075-751-3299

E-mail: yyamashi@kuhp.kyoto-u.ac.jp